

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

記入年月日 平成16年4月20日

平成16年度	事業コード	12310	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	地域医療協力事業			
予算上の事務事業名	地域医療協力事業補助金			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	63以前年度
施策名	第1施策	地域医療体制の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

地域医療協力事業補助金交付要綱
-----------------

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
救命救急患者に対する医療及び搬送業務の円滑化を推進するため、北里大学病院が運営する救命救急センター事業及び相模原協同病院が運営する循環器救急事業に対し助成を行い、地域医療の充実を図る。	北里大学病院救命救急センター、相模原協同病院循環器救急事業	
	対象数	単位
	2	医療機関
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
事業内容		
1 北里大学救命救急センター		
・機能 心筋梗塞、脳卒中、頭部損傷等の重篤救急患者の救命医療を実施		
・診療日時 365日、24時間体制		
・その他 ドクターズカー1台を運行		
2 相模原協同病院循環器救急		
・機能 循環器疾患(急性心筋梗塞、虚血性心疾患、急性心不全、肺梗塞等)、腎疾患(急性腎不全)		
・診療日時 365日、24時間体制		
(4)個別計画の概要	概要	
計画名		
計画年次	年度～年度	

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
			13	14	15	16	17
成果指標	患者数(人) 受診者合計	患者実績により、成果指標とする	1,010	1,038			
活動指標	開業率(%) 開設日/開設予定日×100	開設率により事業の達成状況を見る	100	100	100	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	63,109	63,109	59,553	55,722	55,722
	人員・時間数	0.2人/年	0.2人/年	0.2/年	0.2/年	0.2/年
	人件費	800	800	800	800	800
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	63,909	63,909	60,353	56,522	56,522
特定財源		0	0	0	0	0
対象数(医療機関)		2	2	2	2	2
単位あたり経費(円)		31,954,500.0	31,954,500.0	30,176,500.0	28,261,000.0	28,261,000.0

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	救命救急患者に対する医療であり、緊急性も問われ、患者実績等からも十分達成されていると考える。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 救命救急患者に対する医療であり、安全を願う市民の要望も高いことから、必要性は十分あると考える。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	地域医療事業を実施していくうえで、有効なものとする。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 事業の性格上費用対効果をはかることは難しいが、事業に対する効果は非常にあると考える。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市民全般に対する事業であることから公平性は保たれている。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		横浜市・川崎市等救命救急センターを併設している病院では、本市と同様の事業を実施している。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	市民病院を持たない本市としては、重篤患者の医療施設として救命救急センターは必要不可欠であり、三次救急医療機関である2病院は重要な役割を果たしている。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	本市の医療行政や救急体制においても、初期・二次・三次の機能分担が図られている現体制を継続して行く必要があることから、本事業への支援は今後とも実施していく必要がある。
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--